



事務から見る ACCPの大切さ

今月は、事務の阿南多美恵がこの欄を担当させていただきます。

これまで院長が医師として情報発信してきました。



「車でフィットワーク良く、訪問診療に向っています」

務や裏方の目線で、在宅診療の実情をお伝えしていければと思います。

◇

さっそくですが、院長から医師の活動を支える、当院のスタッフの取り組みについてです。

当院では、医療情報の共有や技術向上を目的に、全職員を対象に勉強会や研修をこまめに実施しています。

先日は、「ACCP」の勉強会を行いました。「ACCP」の正式名称は「Advanced Care Planning」(アドバンスケア・プランニング)です。将来起こり得る状態の変化に備え、事前に、患者さん、家族、医師、看護師、介

護支援相談員等が、ケア全体の目標や受けたい医療について話し合い、方針を決めることを指します。ここで重要なのは、患者さん自身がこれまでどう生きてきて、現状をどう捉えているのか、そして、将来はどうなりたいのかを、時間をかけて考えることにあります。そこで抽出された患者さんの価値観を多職種チーム

(医師、看護師、介護支援相談員、ヘルパーなど)で共有し、患者さんが最終までその生き方をまっとうできるように支えていくことが大切です。死生観と向き合うこの作業は非常に慎重な行程を辿るので、ACCPは早

期から行うことが推奨されています。また、1回で応じて気持ちの変化がないかの確認も行っていきます。経過によって迷いが生じるのは当然のことですから、私たちがそうした患者さんの気持ちに向き合

い、柔軟に対応しながら、地域で頼られる医療機関を目指しています。

☎ 042-439-1250
 西東京市東町 4-14-18-2F
 (訪問中のため不在が多い)
 ■電話対応：午前 9:00～午後 6:00
 ■定休日：土日(祝日は診療)
 ■訪問地域：西東京市、東久留米・新座・練馬の一部

まつばらホームクリニック 検索
 ※2018年4月、名称が「医療法人社団興業会まつばらホームクリニック」に変わりました
 ↑診療相談はこちらから

